

平成29年度 広島大学 2次試験前期日程(数学問題)120分
 教育(第一類・第二類(技術・情報系)・第四類(人間生活系))・
 経済(昼)・歯(航空健康科学(口腔保健))

- 1 座標平面上の2点 $A(\sin \theta, \sin^2 \theta)$, $B(\cos \theta, \cos^2 \theta)$ を考え, A, B 間の距離を L とする. ただし, θ は条件

$$(*) \quad 0 \leq \theta < 2\pi \quad \text{かつ} \quad \sin \theta - \cos \theta - 1 > 0$$

を満たすとする. 次の問いに答えよ.

- (1) $(*)$ を満たす θ の範囲を求めよ.
- (2) $t = \sin \theta \cos \theta$ とおくと, t のとり得る値の範囲を求めよ.
- (3) L を (2) の t を用いて表せ.
- (4) L の最大値, 最小値を求めよ. また, そのときの θ の値を求めよ.

- 2 座標平面上の3点

$$O(0, 0), \quad A(3, 0), \quad B(1, 2)$$

を考える. C を線分 OA 上にあり, $\angle OBC = 45^\circ$ を満たす点とする. また, P を x 座標が t である直線 OA 上の点とする. 点 Q, R, P' を次により定める.

- (a) 点 P を通り傾きが1の直線と, 直線 AB の交点を Q とする.
- (b) 点 Q を通り直線 OB に垂直な直線と, 直線 OB の交点を R とする.
- (c) 点 R を通り直線 BC と同じ傾きをもつ直線と, 直線 OA の交点を P' とする.

次の問いに答えよ.

- (1) 点 Q の座標を t を用いて表せ.
- (2) 点 R の座標を t を用いて表せ.
- (3) 点 P' の座標を t を用いて表せ.
- (4) 点 P' の x 座標を $f(t)$ とする. 数列 $\{t_n\}$ を

$$t_1 = 2, \quad t_{n+1} = f(t_n) \quad (n = 1, 2, 3, \dots)$$

により定める. 数列 $\{t_n\}$ の一般項を求めよ.

3 n を 2 以上の整数とする. n 個のさいころを投げ, 出た目のすべての積を X とする. 次の問いに答えよ.

- (1) X が 5 の倍数である確率を n を用いて表せ.
- (2) X が 5 の倍数である確率が 0.99 より大きくなる最小の n を求めよ. ただし, $\log_2 3 = 1.585$, $\log_2 5 = 2.322$ とする.
- (3) X が 3 でも 5 でも割り切れない確率を n を用いて表せ.
- (4) X が 15 の倍数である確率を n を用いて表せ.

4 座標平面上の二つの曲線

$$C_1 : y = 4x^3 - 1, \quad C_2 : y = x^3$$

を考える. $a > 0$ に対して, x 座標が a である C_1 上の点を A とし, A における C_1 の接線を l とする. 次の問いに答えよ.

- (1) C_1 と C_2 の交点の x 座標を p とする. p の値を求めよ.
- (2) 直線 l の方程式を, a を用いて表せ.
- (3) 直線 l が C_2 に接するとき, a の値を求めよ.
- (4) (3) のとき, 直線 l と C_2 の接点を B とする. C_1 , C_2 と線分 AB で囲まれた図形の面積を求めよ.

解答例

1 (1) $\sin \theta - \cos \theta - 1 > 0$ より

$$\sqrt{2} \sin \left(\theta - \frac{\pi}{4} \right) - 1 > 0 \quad \text{ゆえに} \quad \sin \left(\theta - \frac{\pi}{4} \right) > \frac{1}{\sqrt{2}}$$

$0 \leq \theta < 2\pi$ より, $-\frac{\pi}{4} < \theta - \frac{\pi}{4} < \frac{7}{4}\pi$ であるから

$$\frac{\pi}{4} < \theta - \frac{\pi}{4} < \frac{3}{4}\pi \quad \text{よって} \quad \frac{\pi}{2} < \theta < \pi$$

(2) $t = \sin \theta \cos \theta = \frac{1}{2} \sin 2\theta \quad \dots (*)$

(1) の結果から, $\pi < 2\theta < 2\pi$ であるから $-\frac{1}{2} \leq t < 0$

(3) A($\sin \theta, \sin^2 \theta$), B($\cos \theta, \cos^2 \theta$) より

$$\begin{aligned} L^2 &= (\sin \theta - \cos \theta)^2 + (\sin^2 \theta - \cos^2 \theta)^2 \\ &= (\sin \theta - \cos \theta)^2 \{1 + (\sin \theta + \cos \theta)^2\} \\ &= (1 - 2 \sin \theta \cos \theta)(2 + 2 \sin \theta \cos \theta) \\ &= (1 - 2t)(2 + 2t) = 2(1 + t)(1 - 2t) \end{aligned}$$

よって $L = \sqrt{2(1 + t)(1 - 2t)}$

(4) (3) の結果から $L^2 = -4t^2 - 2t + 2 = -4 \left(t + \frac{1}{4} \right)^2 + \frac{9}{4}$

上式および (*) より L は

$$t = -\frac{1}{4}, \quad \text{すなわち, } \theta = \frac{7}{12}\pi, \frac{11}{12}\pi \text{ のとき最大値 } \sqrt{\frac{9}{4}} = \frac{3}{2}$$

$$t = -\frac{1}{2}, \quad \text{すなわち, } \theta = \frac{3}{4}\pi \text{ のとき最小値 } \sqrt{2}$$

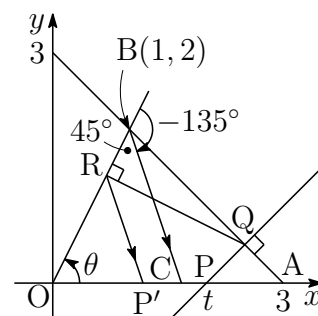
- 2 (1) 点 $P(t, 0)$ を通り、傾きが 1 の直線は

$$y = x - t$$

2 点 $A(3, 0)$, $B(1, 2)$ を通る直線は

$$y = -x + 3$$

この 2 直線の交点 Q は $\left(\frac{3+t}{2}, \frac{3-t}{2}\right)$



- (2) 点 $Q\left(\frac{3+t}{2}, \frac{3-t}{2}\right)$ を通り、直線 OB に垂直な直線は

$$y - \frac{3-t}{2} = -\frac{1}{2}\left(x - \frac{3+t}{2}\right) \quad \text{ゆえに} \quad y = -\frac{1}{2}x + \frac{9-t}{4}$$

これと直線 $OB: y = 2x$ との交点 R は $\left(\frac{9-t}{10}, \frac{9-t}{5}\right)$

- (3) 直線 OB と x 軸の正の向きとなす角を θ とすると $\tan \theta = 2$

直線 BC の傾きは $\tan(\theta - 135^\circ) = \frac{\tan \theta - \tan 135^\circ}{1 + \tan \theta \tan 135^\circ} = \frac{2 - (-1)}{1 + 2 \cdot (-1)} = -3$

点 $R\left(\frac{9-t}{10}, \frac{9-t}{5}\right)$ を通り、直線 BC と平行な直線は

$$y - \frac{9-t}{5} = -3\left(x - \frac{9-t}{10}\right) \quad \text{ゆえに} \quad y = -3x + \frac{9-t}{2}$$

この直線と直線 OA の交点 P' は $\left(\frac{9-t}{6}, 0\right)$

- (4) (3) の結果より、 P' の x 座標が $f(t)$ であるから $f(t) = \frac{9-t}{6}$

$$t_{n+1} = f(t_n) \quad \text{より} \quad t_{n+1} = \frac{9-t_n}{6} \quad (n = 1, 2, 3, \dots)$$

$$\text{したがって} \quad t_{n+1} - \frac{9}{7} = -\frac{1}{6}\left(t_n - \frac{9}{7}\right)$$

数列 $\left\{t_n - \frac{9}{7}\right\}$ は初項 $t_1 - \frac{9}{7} = 2 - \frac{9}{7} = \frac{5}{7}$, 公比 $-\frac{1}{6}$ の等比数列であるから

$$t_n - \frac{9}{7} = \left(t_1 - \frac{9}{7}\right) \left(-\frac{1}{6}\right)^{n-1} \quad \text{よって} \quad t_n = \frac{9}{7} + \frac{5}{7} \left(-\frac{1}{6}\right)^{n-1}$$

3 (1) X が 5 の倍数となる事象を A とすると

$$P(\bar{A}) = \left(\frac{5}{6}\right)^n \quad \text{ゆえに} \quad P(A) = 1 - P(\bar{A}) = 1 - \left(\frac{5}{6}\right)^n$$

(2) (1) の結果を利用して $1 - \left(\frac{5}{6}\right)^n > 0.99$ ゆえに $\left(\frac{6}{5}\right)^n > 100$

$$2 \text{ を底とする対数をとると } n \log_2 \frac{6}{5} > \log_2 100$$

$$\text{したがって} \quad n(1 + \log_2 3 - \log_2 5) > 2(1 + \log_2 5)$$

$$n > \frac{2(1 + \log_2 5)}{1 + \log_2 3 - \log_2 5}$$

$$\frac{2(1 + \log_2 5)}{1 + \log_2 3 - \log_2 5} = \frac{2(1 + 2.322)}{1 + 1.585 - 2.322} = \frac{6.644}{0.263} \doteq 25.2 \dots$$

よって、求める最小の整数 n は **26**

(3) X が 3 の倍数となる事象を B とすると、求める確率は

$$P(\bar{A} \cap \bar{B}) = \left(\frac{3}{6}\right)^n = \left(\frac{1}{2}\right)^n$$

(4) (3) の結果から $P(\overline{A \cup B}) = P(\bar{A} \cap \bar{B}) = \left(\frac{1}{2}\right)^n$

$$\text{したがって} \quad P(A \cup B) = 1 - P(\overline{A \cup B}) = 1 - \left(\frac{1}{2}\right)^n$$

$$P(\bar{B}) = \left(\frac{4}{6}\right)^n \quad \text{ゆえに} \quad P(B) = 1 - \left(\frac{2}{3}\right)^n$$

よって X が 15 の倍数である確率は

$$\begin{aligned} P(A \cap B) &= P(A) + P(B) - P(A \cup B) \\ &= 1 - \left(\frac{5}{6}\right)^n + 1 - \left(\frac{2}{3}\right)^n - \left\{1 - \left(\frac{1}{2}\right)^n\right\} \\ &= 1 + \left(\frac{1}{2}\right)^n - \left(\frac{2}{3}\right)^n - \left(\frac{5}{6}\right)^n \end{aligned}$$

- 4 (1) $C_1: y = 4x^3 - 1$ と $C_2: y = x^3$ の交点の x 座標が p であるから

$$4p^3 - 1 = p^3 \quad \text{ゆえに} \quad p^3 = \frac{1}{3} \quad \text{よって} \quad p = \frac{1}{\sqrt[3]{3}}$$

- (2) $y = 4x^3 - 1$ を微分すると $y' = 12x^2$

C_1 上の点 $(a, 4a^3 - 1)$ における接線 l の方程式は

$$y - (4a^3 - 1) = 12a^2(x - a) \quad \text{すなわち} \quad y = 12a^2x - 8a^3 - 1$$

- (3) $y = x^3$ を微分すると $y' = 3x^2$

l と C_2 との接点の x 座標を t とすると、接線の傾きと y 座標により

$$\begin{cases} 3t^2 = 12a^2 & \dots \textcircled{1} \\ t^3 = 12a^2t - 8a^3 - 1 & \dots \textcircled{2} \end{cases}$$

① から $t^2 = 4a^2$ ゆえに $t = \pm 2a$

- (i) $t = 2a$ を ② に代入すると $(2a)^3 = 12a^2 \cdot 2a - 8a^3 - 1$

整理すると $8a^3 = 1$ ゆえに $a = \frac{1}{2}$, $t = 1$

- (ii) $t = -2a$ を ② に代入すると $(-2a)^3 = 12a^2 \cdot (-2a) - 8a^3 - 1$

整理すると $24a^3 = -1$ これは $a > 0$ であることに反するので不適

よって $a = \frac{1}{2}$

- (4) 2点 A, B の x 座標は、それぞれ $\frac{1}{2}$, 1

(2), (3) の結果から $l: y = 3x - 2$

求める面積を S とすると

$$\begin{aligned} S &= \int_{\frac{1}{2}}^p (4x^3 - 1) dx + \int_p^1 x^3 dx \\ &\quad - \int_{\frac{1}{2}}^1 (3x - 2) dx \\ &= \left[x^4 - x \right]_{\frac{1}{2}}^p + \left[\frac{1}{4}x^4 \right]_p^1 \\ &\quad - \left[\frac{3}{2}x^2 - 2x \right]_{\frac{1}{2}}^1 \\ &= \frac{3}{4}p^4 - p + \frac{9}{16} \end{aligned}$$

$$p^4 = p^3 p = \frac{1}{3}p \text{ に注意して} \quad S = -\frac{3}{4}p + \frac{9}{16} = -\frac{3}{4}\sqrt[3]{\frac{1}{3}} + \frac{9}{16}$$

